

阿弥陀堂

無量光院の阿弥陀堂は、仏典に描かれる極楽浄土の姿を再現しようと設計され、かつて池の中央にある中島に建っていました。

平等院と同様に、無量光院の阿弥陀堂には極楽浄土の主仏である阿弥陀像が祀られていました。阿弥陀像は丈六仏(2.43m)だったとされます。中島の発掘中に研究者たちは、阿弥陀堂の正面の地面にタイルの一種があるのを発見しました。これは平等院にはないものです。

人々が極楽浄土のあるとされる西側を向いて礼拝できるように、阿弥陀堂は東向きに建てられていました。